



令和8年 2月 2日発行

間もなく立春を迎えますが、今冬の寒波はまだまだ収まりそうにありません。正月以来、全国的にさまざまな感染症の流行が報じられています。当園でもインフルエンザ A、溶連菌、RS ウィルス等出てまいりました。ひとときも早い収束を願っています。

本年度も残すところあと2か月、子ども達は1年の締めくくりと卒園・進級への期待に胸ふくらませています。私共職員一同子ども達の健康、安全を第一に楽しい保育に励んでまいります。



- 7日(土) 345歳児保育参観
- 13日(金) お店屋さんごっこ
- 17日(火) テバッタマジック
- 26日(木) 高良大社入学祈願(すみれ組)

※天気次第で変更になる場合もあります。



3月の行事

- 3日(火) 誕生会
- 5日(木) お別れ遠足
- 28日(土) 卒園式



思いやりエピソード



上着のファスナーを自分でやってみようと頑張っているある日の事、Rくんがしばらく頑張っていたが「できない…」と呟いた。すると、できるようになって喜んでいたRくんが「してあげようか？」と声をかけてくれた。Rくんも「うん！」と返事をした。ファスナーが少し動く「ほら！」とRくん。「ありがとう」とRくん。二人でニッコリ笑顔を見せた。その様子をみてKちゃんやHちゃんも「お手伝いしょっか？」と友だちに声をかけて上着のファスナーやボタンをお手伝いしてくれた。友だちを思う優しさの輪が広がりがあたたかくなった。(もも組)

ホールで恐竜の人形で遊んでいたYちゃんとKくん。遊ぶ時間が残り15分のところでティラノサウスの取り合いが始まった。時計を見て時間で決めようとしていたが遊ぶ時間が限られているため「どうしよう…」となっていたところへKくんが「一緒につかおっか」と声をかけ、一緒に使うようになった。以前は自分の手元にくるまで納得いかない事もあったが、相手を優先する姿を見て成長を感じた。(もも組)

みんなで節分の鬼を作っていた時のこと。鬼のつのが折れ曲がってしまったので、担任が「鬼さんのつのをなおしてあげようね」と言うと、Yちゃんがつのを優しくなでながら「Yちゃんよしよししてるー！」と言う姿があり、他の子もよしよししてくれた。その後、つのがなるとみんなで「良かったね」の発表会で歌ったうたが始まり、ニコニコな子ども達。お部屋の中が優しい雰囲気になった。(さくらんぼ組)



おにはそと、ふくはうち



赤・青・黄・緑・黒色などの鬼を作り、それぞれ「おこりん坊鬼」「泣き虫鬼」など、子どもたちの心の中の鬼に豆まきを行います。「鬼」と聞くと子どもたちは表情が硬くなりがちですが、「おにわ～そと」のかけ声が始まると、勇気を出して紙でできた豆を、鬼に向かって投げます。子ども達の勢いに、だんだん力が出なくなった鬼は逃げて行ってしまいます。そこで福の神登場です。一気に安心感が増し、ほっとした表情で福の神に抱きしめられると笑顔に包まれます。みんな、いろんな気持ちを経験しながら節分を楽しみます。



はるの気配

2月3日に立春を迎え、暦の上では春の始まりです。また、今年は、19日(木)は「雨水」。雪が温かい雨に変わって、降り積もった雪を溶かし、春に向けて草木を目覚めさせます。厳しい寒さが続く中ですが、お子さんと自然に目を向けてみると、草花の新芽や陽だまりの暖かさに、小さな春を感じとることができます。園でも、お天気のいい日はお散歩に出かけ小さな春を見つけに行きます。



お知らせ

1月後半から少しずつインフルエンザAのお子さんが増えてきました。園内では、発熱した場合すぐご家庭にお迎えをお願いしております。感染症対策を引き続き行い、感染拡大防止に努めてまいります。発熱されたお子さんは、必ず受診され診断を受けてから登園をお願いいたします。

